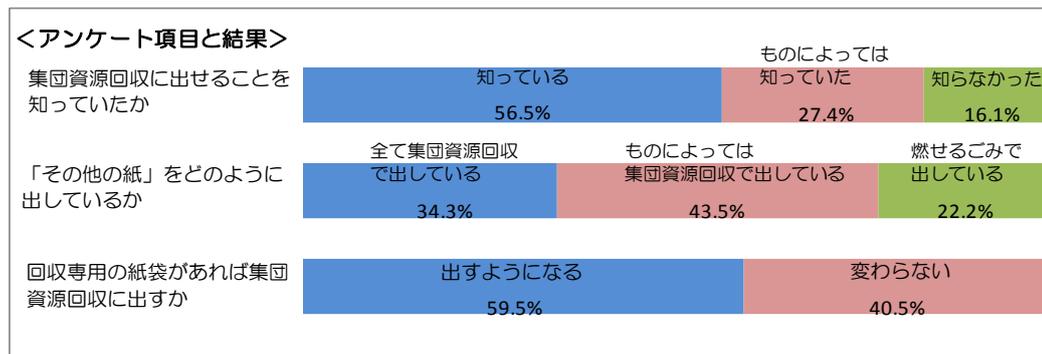


ごみ減量化・資源化に関する市民アンケートの主な調査結果について

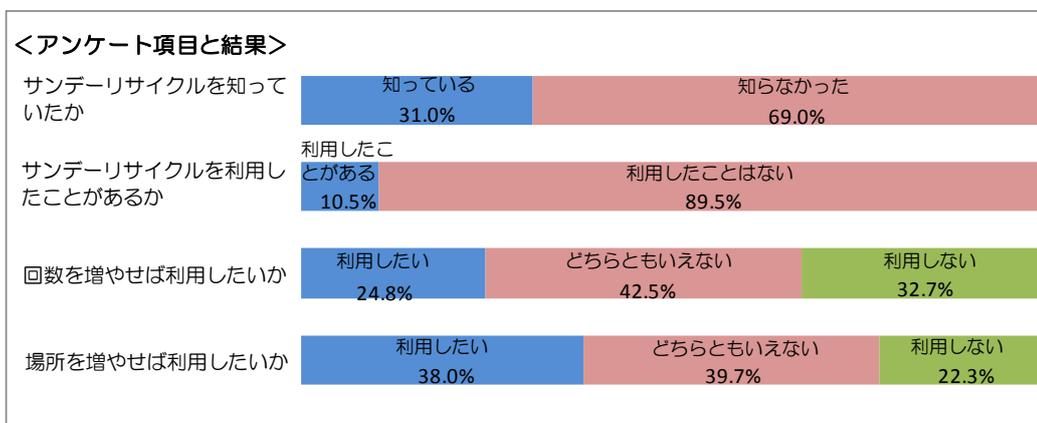
◇ 集団資源回収（その他の紙）について

- ・集団回収に出された「その他の紙」は、平成 26 年度 1,384 トン資源化しました。
- ・燃せるごみのごみ質分析によると、約 4 %が「その他紙」（推計 3,600 トン）で、資源化できる紙が燃せるごみとして焼却されている実態があります。



◇ 集団資源回収（サンデーリサイクル）について

- ・集団資源回収に出し忘れた時や保管に困っている方のために、市のごみ処理施設など 4 か所で、毎月第 1 から第 4 日曜日に集団資源回収の品目を回収しているものです。
- ・平成 26 年度は 47 回実施し、回収量は約 149 トンでした。(集団資源回収量 25,918 トンの 0.6%)



◇ 生ごみ等減量化処理機器の利用状況について

- ・生ごみ処理機器購入に対して購入額の 1/2（上限 3 万円）の補助金を交付しています。
- ・対象機種は「電気式生ごみ処理機」、「コンポスト容器」、「EM 処理容器」、「小枝粉碎機」です。
- ・平成 26 年度の補助実績は合計 108 基でした。
- ・利用しない理由として最も多かった回答は「設置場所がないから」で 52.3%でした。

